

## 平成28年度 第2回中央区支え合いのまち推進協議会議事録要旨

### 【1】開 催

- 1 会 議 名：平成28年度第2回中央区支え合いのまち推進協議会
- 2 日 時：平成28年12月14日（水） 午後14時00分～午後16時00分
- 3 場 所：中央保健福祉センター 大会議室（きぼーる11階）
- 4 出 席 者：委員 23名（介助者を除く）  
（欠席 4名）  
事務局 13名  
あんしんケアセンター蘇我 1名  
傍聴人 0人

### 【2】次 第

- 1 開 会
- 2 中央区長あいさつ
- 3 新任委員紹介
- 4 議題
  - (1) 「各地域における取り組みの視察」の実施について  
・・・ 資料1
  - (2) 蘇我地区における「認知症徘徊声かけ訓練」の実施について  
・・・ 資料2
- 5 その他
- 6 閉 会

### 【3】議事の要旨及び発言要旨

#### 議題（1）「各地域における取り組みの視察」の実施について

（委員長）

視察は3か所回っている為、まずは事務局からそれぞれ報告してもらい、実際に視察した委員から報告についての補足後、各委員から質問を頂きたい。それではA班の視察から報告をして頂きたい。

#### Aグループ 視察先：西千葉地区部会

（事務局 Aグループ委員）

※資料1-1について説明を行う。

（委員）

登戸3丁目は見守り協力員が63名でスタートされているが、かなりの人数だと思う。一体どうやってこのような人を集めたのか。

(副委員長)

募った訳ではなく、一人暮らしの高齢者の隣近所の住民達にお願いしている。本人(高齢者)が誰(協力員)でも良いと言えば民生委員が協力員候補者を事前に推薦する。そこで高齢者から了承を得られれば、実際に候補者宅を伺い、お願いする。

### **Bグループ 視察先：松ヶ丘地区部会**

(事務局、Bグループ委員)

※資料1-2について説明を行う。

(委員)

この課題の中で限られた人数でローテーション、運営していて精神的に厳しい状況にあるのはここいる委員も感じると思うが、実際、1347日もの間「ひだまり」が開催されている中で運営スタッフを一体どういうようにまかなっているのか。

(委員)

最初は各町内会長に運営スタッフを割り当てていたが、その体制だと続かなかった。今は福祉関係の社協、民生、育成の三者が部会長に入っているので連携も出来る。「ひだまり」の活動に興味がある人には声をかけており、最終的に現在は二人体制で落ち着いている。周りからは「大変そうだ。」とよく言われるが全くそんなことはないし、楽しくやっている。この場で言うて良いのか分からないが福祉に関心がある人がいれば、どんどん声をかけているし、「ひだまり」で毎月金曜日に「大人の時間」というものを開き、そこでは色々意見交換、情報交換が行われ、会員間の良好な関係作りの場になっている。

### **Cグループ 視察先：ちば中央地区部会、障害者地域活動支援センター「まるめろ」**

(事務局、Cグループ委員)

※資料1-2について説明・補足を行う。

(委員)

敬老会の視察報告だが、実際に視察に行った人が報告しないと分からないのではないかな。

加えて敬老会を開催するにあたって地区部会にどれくらいの役員や委員がいるのかが聞きたい。我々の地区部会の場合は連協の来賓で来ている会長さん達にも手伝ってもらっている。あとは開催場所についても、どこでやっているのか教えて頂きたい。

(委員)

敬老会については中央区を通じて「千葉市文化センター」を使用させて貰っている。当日の運営スタッフは町内会長と民生委員、福祉活動推進委員を含めて70名強で行っている。

(委員)

今、委員から話があったが私からも敬老会について補足説明をさせて頂きたい。この会は葛城中学校区27町会のメンバーが年に1回必ずやっている。普通、町内会でやっている敬老会とは別に、芸が達者な人や、どうしても人前で踊りたいとか歌いたいという人が集まってくる。私も実際に「何でこんな高齢のお婆さんも来ているのか。」と思い、よく考えてみたら、この会があるから皆長生きしていると思った。この会には最高齢の方で九十いくつの方が来る。我々が考えている以上にこの会の位置づけが地域の

高齢者の方の中で「人生の励み」になっていることについて、この場できちんと報告したいと思っている。

二つ目に、この会に参加している歌い手も年々減ってきている為、当然町内会全体で会長中心に民生委員を含めて検討する。そこでどうするかというと会長や民生委員も実際に顔にお面を被って踊りを披露する。今やそれが定番となり、出てこないと会が終わらないというようになって、今まであまり関係無かった住民がこれを通じてコミュニケーションを取るようになった。それから、千葉高のダンス部の女学生が会に参加してくれているが、高齢者の方も自分の孫と年齢が同じような人達がダンスをするのを見たいということで会に呼んでほしいという希望が多い。また千葉高ダンス部も非常に協力的である。

この会は従来の町内会の敬老会ではなく、横の繋がり、つまり葛城中学校区27町会が力を合わせてやっているということをご理解頂ければと思う。

次に「まるめろ」について伺いたいことがある。私の地区にも60歳を超えて精神障害を持つ人が独居でいて、通院はしているが、コンビニ等への買い物に行くだけでも大変だと話している。こういった方の相談先が「まるめろ」だと思っているが、具体的に「まるめろ」は何をしてくれるのか。

(委員)

「まるめろ」は地域活動支援センターI型というのに分類され、相談業務や日中活動を行っている。木之本委員から話があった独居の精神障害を持つ方で買い物も怪しい方のところに、実際に出向いていくということはない。あくまで利用を希望する人が「まるめろ」に来てもらい、相談事があれば相談に応じるという事でやっている。正直、こちらでも地域で把握していない精神障害者の方はたくさんおり、「まるめろ」でそういった方達を把握し、支援するというのは出来てないのが現状である。

(委員長)

地域の方で心配な人がいたら、周りの住民は相談しに行くことは可能なのか。

(委員)

それは出来る。

(委員)

私も何回か連れて行って相談をしたことがある。やはり地区には出てこないのか。

(委員)

本当であれば精神疾患の方を支援する側として地域住民に精神疾患への知識の普及活動をしなければいけないが、なかなかそれが進まない。民生委員等の地域住民に精神疾患の知識や支援方法を広めることが出来れば、地域の中でそういった人達を支える事が出来るとは思う。その部分の理解が浸透しないことと精神疾患を抱える方達自体も疾患に負い目を感じ、自分から助けを求めることが出来ない部分もこれからの課題と考えている。

(委員)

松ヶ丘地区部会の地域運営委員会で、構成団体が42団体。非常に地域密着型で活動されているが構成団体から会費は納入しているのか。また運営上の留意点という事で行事の統廃合という部分があるが、この行事の統廃合というのは各町内会同士が共通の行事をしているということなのか。

(委員)

会費は年額2,000円でやっている。統廃合については各団体補助金を貰っていると思うが、地域運営委員会の地域問題検討部会の中で何かしたいという意見が出れば、そこでやりとりをしている。

## 議題(2) 蘇我地区における「認知症徘徊声かけ訓練」の実施について

(千葉市あんしんケアセンター蘇我)

資料2について説明を行う。

(委員)

一応、補足として今後については訓練後の地区部会の常任理事会において全員一致で今後も訓練を続けようということになった。また今回こういったことが初めてということで色々手間取ったところもあり、訓練を継続する上で何をしたらよいかという事も議題となった。今までは市の社協やあんしんケアセンターの方々に手を借りていたが「この訓練を自分達の手でやろう。」という声上がり、来年度以降も市社協、あんしんケアセンターの力を借りながら自立していき、各町内自治会、蘇我地区部会の中で地域住民にこういう活動しているというのが広まっていけば良いと思っている。

(委員)

良くやっていると思う。これからも継続して行って欲しい。それと認知症サポーター養成講座を受けている人が地域の中にいると思うが、出来ればこういう人達を中心にやった方が良いのではないか。講座を受けた人はオレンジリングを持っており、訓練の資料映像の中では身に着けている人はそんなにいなかったが、それを身に着けて訓練をすれば地域にそういった活動が広まりやすいのではないか。

(委員)

今回参加してくれた方々の多くが認知症サポーター養成講座を受けている。今後はオレンジリングを身に着けるようにしたい。

(委員)

今回の蘇我の声掛け訓練については地域ケア会議にあんしんケアセンターからこういう訓練をしましょうという提案をして、実行委員会を作って行ったと思うがその地域ケア会議で提案した際、すぐに皆やりましょうとなったのか、多少議論があったのか、そのところ詳しく教えて欲しい。

(委員)

以前から地域ケア会議の中で地域の見守りについてどうするかという意見が出ていた。特に防災無線で高齢者が居なくなりましたとか流され、徘徊老人が最近多くなってきているという話から地域で高齢化が進んできているので、行動を起こそうと決まった。

(あんしんケアセンター蘇我)

補足すると、実行委員はやりたくないが訓練を行うのは賛成するという声は多かった。

(委員長)

あんしんケアセンターが主体になって行っている地域ケア会議はどのくらいあるのか。特に中央区の地区部会との間で。

(あんしんケアセンター蘇我)

他のあんしんケアセンターについては分からないが、当センターでは生浜地区部会で

は生浜地区地域福祉連携会議という名の地域ケア会議を年2回開催している。白旗台地区部会に関しては、白旗の市営団地の高齢化率が大変高いので2か月に1回開催している。それぞれのあんしんケアセンターで各地区部会にどんな課題があるかによって開催の内容が変わると思う。

(委員)

補足させてもらおうと地域ケア会議の定義について地域の課題について検討するということと個別の事例を検討するということがあり、これは仲野氏の言うとおりに各センターによって地域によって開催状況は異なっていると思う。蘇我の方では地域課題をテーマにした会議が多いと思うが私がいる新千葉では個別の事案の方が多くなり、それぞれ地域の実情によって異なっていると思う。

(委員長)

本来、地域ケア会議は対象の人を特定してその人に対してのケア会議というのがスタートだったと思う。今は関係する人達の意味疎通や情報共有、一緒に地域について考える会議と二種類あると思うが、あんしんケアセンターと地区部会が連携しているケースは中央区の場合はどのくらいあるのか。

(委員)

率直に言うと中央区全体の数字となるとどのセンターも把握出来ていない状況だと思う。

(委員長)

事務局の方でも分からないか。

(事務局)

それぞれのあんしんケアセンターが地域で何かあったときには各関係機関を呼んで、個別の対応もするし、地域の課題についてもするし、今回のような訓練をやりたければ、それについてもやる、地域ケア会議の数をどこからどこまでいれるかという整理がっていない現状がある。

## その他

(事務局)

二つ、事務局の方から報告がある。まず一つ目は各地域における今年度の取り組みについて年度評価をして来年1月中旬から2月いっぱいを目処に各地区部会に事務局が出向き、ヒアリング調査を行わせて頂きたいと思う。日程については社協さんの方からご連絡等をさせて頂きたいと思うのでご協力お願いしたい。二つ目が今年度最後になる次回の推進協の開催日程について昨年度は3月15日に開催しているが本年度についてはいかがか。

(委員長)

次回の日程については3月21日午前中で会議室も空いているようなので、この日程で決定する。

以上